

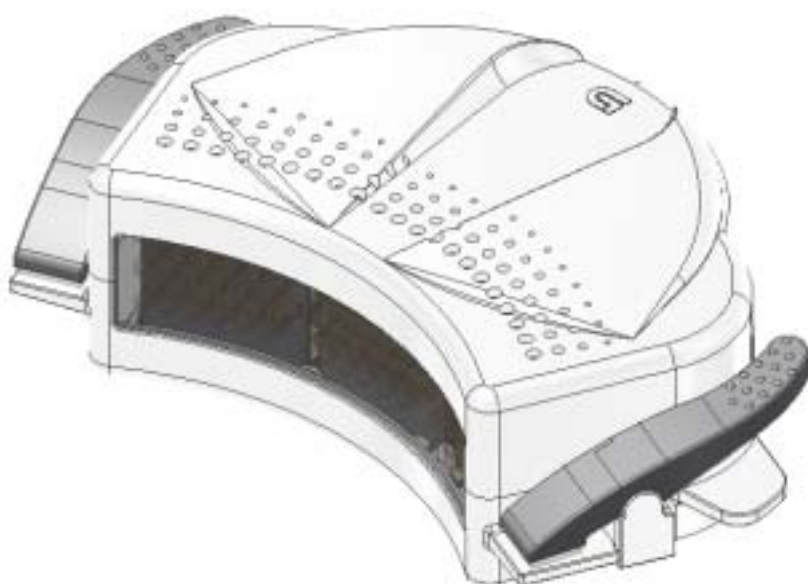
# ブリリカ ビアンコ

---

## 取扱説明書

製造販売届出番号  
14B2X00036000008 号

安全にお使いいただくために必ずお読み下さい。



このたびは、『ブリリカ ビアンコ』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書の  警告、禁忌・禁止、注意をよくお読みいただき正しくご使用下さい。

この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、わからない時は再読して下さい。

### 正しく使って効率アップ

本製品は歯面漂白用加熱装置です。

## 機器の表示記号

機器に表示されているマークのところについて、下記を参照すること。



電撃に対する保護の程度による装着部の分類の「B形装着部」を意味します。

## 注意事項



### 警告

本製品は歯面漂白用加熱装置です。使用目的以外には使用しないこと。  
患者には専用の保護めがねを装着させ、光源を直視しないこと。  
照射を行う前に緊急停止の方法を患者に説明すること。  
ブリリカ本体に患者が触れないこと。  
水や溶剤など液体をかけないようにすること。  
光線過敏症の患者又は、光線過敏症を発症する可能性のある薬剤を服用している患者に使用しないこと。

下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

当社または当社の指定した業者以外による改造・保守および修理  
当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷  
当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理  
この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合  
この取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による場合  
火災・天災(地震・水害・落雷等)の場合



### 禁忌・禁止

次の行為の禁止

不具合状態での使用。  
機器の改造および分解。  
未整備状態での使用。  
(未整備状態とは、定期点検や日常点検を行っていない状態を言う。)

# 医療用電気機器の安全及び危険防止の為の使用上の注意事項

- 1 . 歯科医師及びスタッフ以外は機器を使用しないこと。
- 2 . 機器を取り付けるときには、次の事項に注意すること。  
水がかからないようにすること。  
気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所で取り付けること。  
傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。  
化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所で取り付けを行わないこと。  
電源の周波数と電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意すること。
- 3 . 機器を使用する前に次の事項に注意すること。  
全てのコードの接続が正確でかつ安全に接続されていることを確認すること。  
専用コード以外は接続しないこと。
- 4 . 機器の使用中は次の事項に注意すること。  
機器全般に異常のないことを絶えず監視すること。  
機器に異常が発見された場合には機器の動作を止めるなど、適切な措置を講ずること。  
患者が緊急停止ボタンを押して中断アラームが鳴った際には速やかに患者のもとに向かい適切な処理を行うこと。  
短時間でのON・OFFの繰り返し運転を行わないこと。  
照射中にバッテリーケースを開けないこと。
- 5 . 機器の使用後は次の事項に注意すること。  
照射完了後も冷却ファンは1分間回り続けるため、冷却ファンが止まってから電源をOFFにすること。  
コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
- 6 . 故障した際は勝手にいじらず適切な処置を行い、修理は購入先又は当社に任せること。
- 7 . 機器は改造しないこと。
- 8 . 異常音がする場合は使用しないこと。
- 9 . 保守点検  
清掃の方法  
P.21『清掃の方法』を参照  
しばらく使用しなかった機器を再使用する際には、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動する事を確認すること。

本機使用中に異常が感じられた場合は、コントローラ内部のバッテリーコネクタを外し、購入先または当社までご連絡下さい。

## 輸送及び保管に関する環境条件について

- 1 . 水や溶剤がかからないように保管すること。
- 2 . 気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- 3 . 傾斜、振動、衝撃(輸送時含む)など安定状態に注意すること。
- 4 . 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- 5 . 周囲温度範囲-10 ~ 40 、相対湿度 20% ~ 90%(非結露)の範囲で保管すること。

## 電磁適合性について

本製品は、医療用電気機器の電磁両立性の規格に適合しています。  
ただし、生命維持機器など、電磁障害で重大な危険性が生じる恐れのある機器は、  
本製品の近くでは使用しないこと。

**EMC 適合**

## 廃棄について（環境保護）

本製品、又は付属品を廃棄する場合は、環境への影響を制御するために、  
血液や病原微生物等が付着している恐れがある為、感染性廃棄物として滅菌消毒を  
行った上で、特別管理産業廃棄物の取得許可を取得している業者に処理委託を  
行うか、購入先又は当社までご連絡下さい。

リチウムイオンバッテリーの廃棄に関しては、各自治体の規定に従って廃棄を行って下さい。

# 概要

使用目的は、口腔内の歯牙に塗布した漂白剤を光照射にて加熱する熱源です。  
本製品は、ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS と組合せることにより、照射距離が一定で安定した照射の効果があります。

本製品は電源にリチウムイオンバッテリーを使用しています。

お知らせ受信機を使用することで離れた場所でも、照射終了・中断を知ることができます。

# 各部名称

## (1) 部品構成

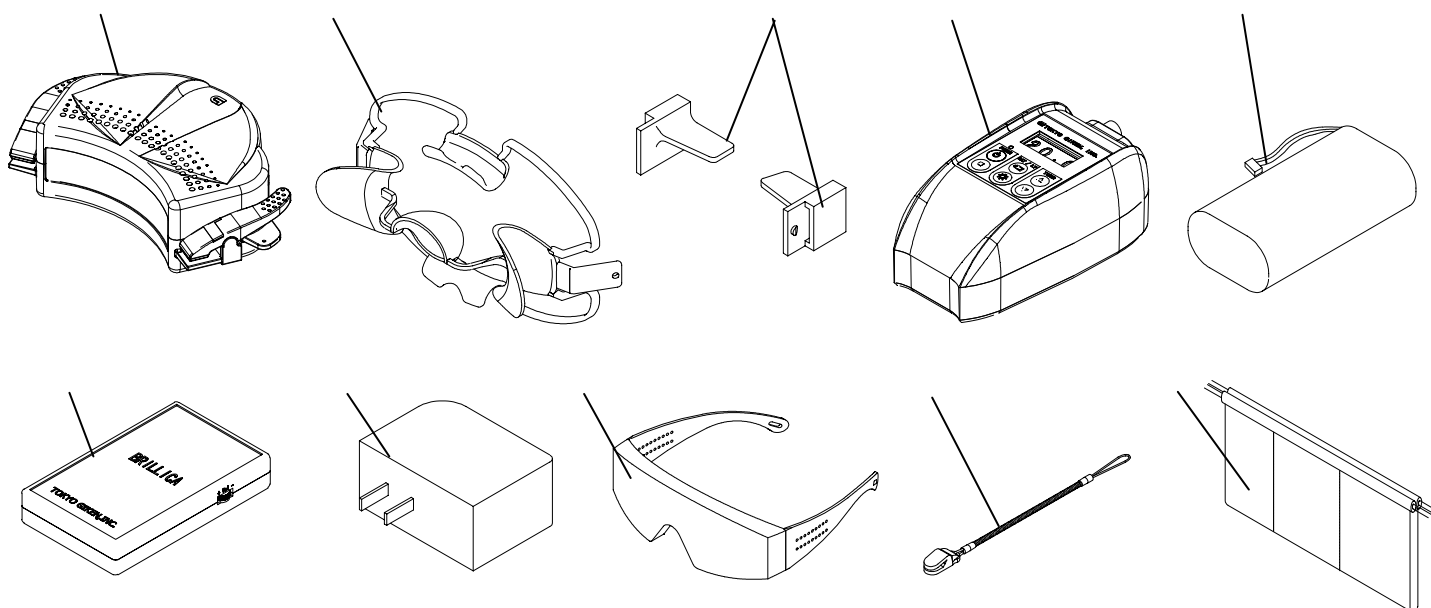


図1：部品構成

部品番号	名称	備考
1	本体	
2	ブリリカ用開口器 ブリリカ用開口器 SS	各1ヶ
3	アタッチメント	左・右セット
4	コントローラ	
5	リチウムイオンバッテリー	
6	お知らせ受信機	
7	ACアダプタ	
8	保護メガネ	
9	ストラップ	
10	収納袋	保管用

( 2 ) 本体

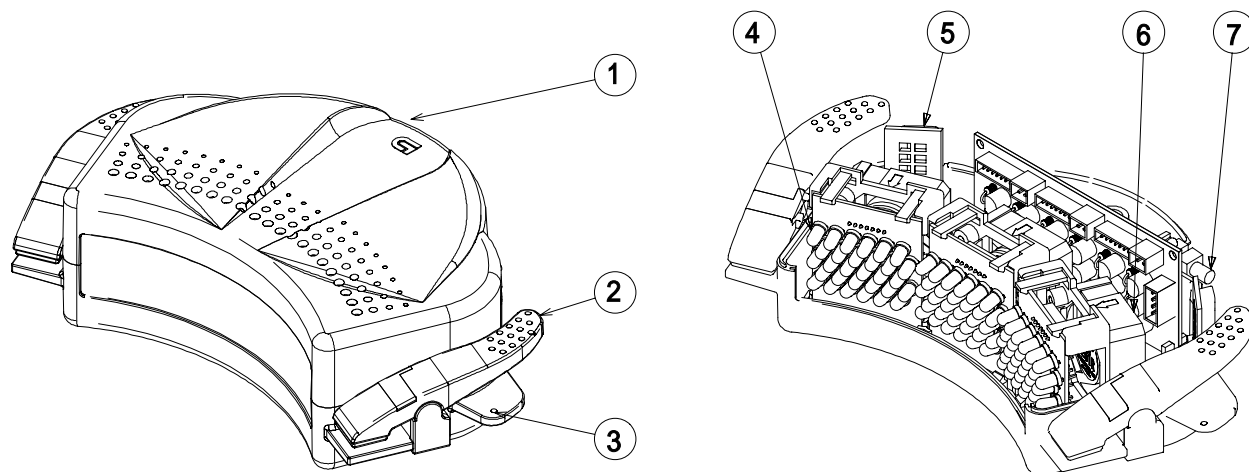


図 2 : 本体構成

部品番号	名 称	備 考
1	本体カバー	
2	クリップ	左右 2 個
3	ストラップ用穴	1 箇所
4	L E D	9 0 灯
5	排気口	左右 2 箇所
6	冷却ファン	3 個
7	ケーブル	コントローラへ接続

( 3 ) ブリリカ用開口器 ( ブリリカ用開口器 SS )

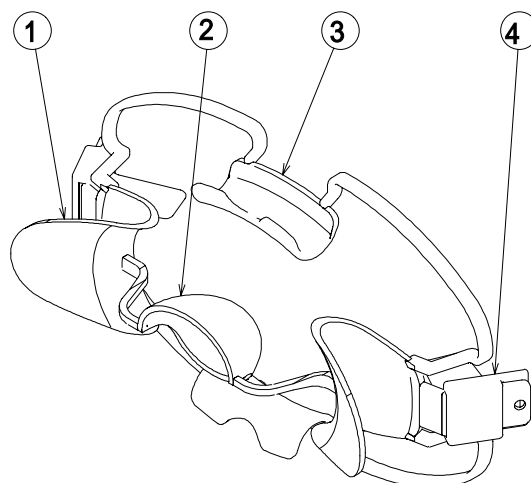


図 3 : ブリリカ用開口器 ( ブリリカ用開口器 SS ) 各部名称

部品番号	名 称	備 考
1	口角部	左右 2 箇所
2	舌固定部	
3	口唇部	上下 2 箇所
4	ハンドル部	左右 2 箇所

#### (4) アタッチメント

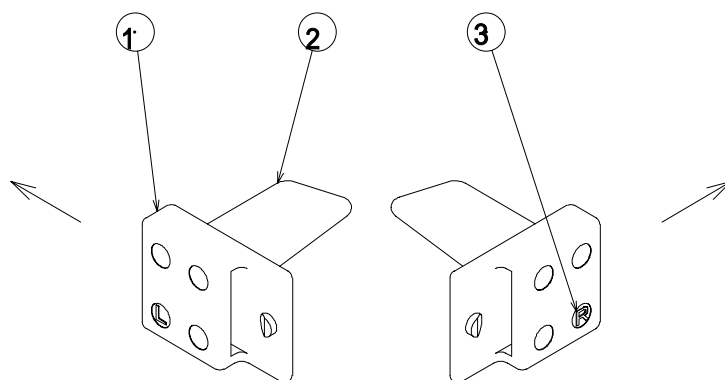


図4：アタッチメント各部名称  
矢印はブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS への装着方向

部品番号	名称	備考
1	装着穴部	ハンドル部に挿入
2	クリップ取付部	左右2箇所
3	左・右表記部	『L』は左、『R』は右

#### (5) コントローラ

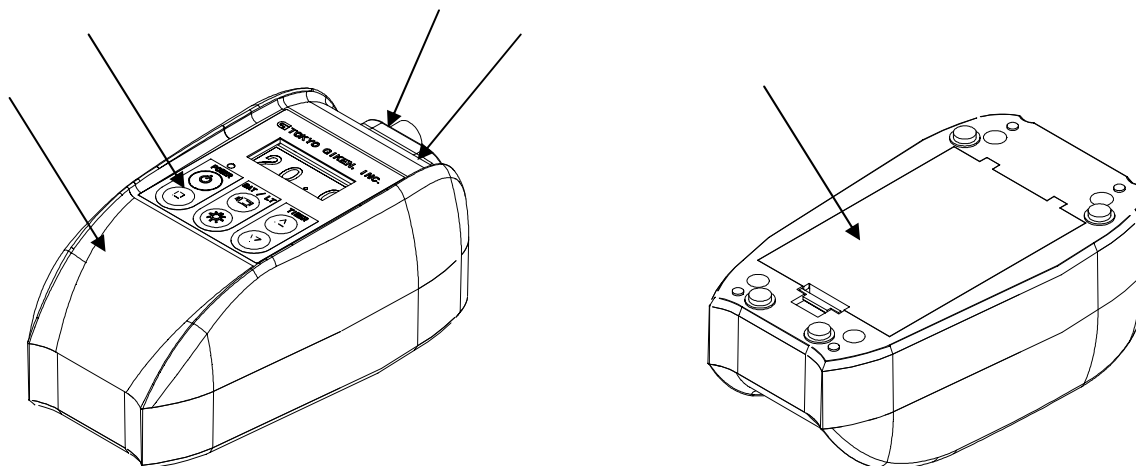


図5：コントローラ構成

部品番号	名称	備考
1	コントローラカバー	
2	操作スイッチ	
3	ケーブル接続部	
4	ACアダプタ接続部	
5	バッテリーケース	

( 6 ) お知らせ受信機

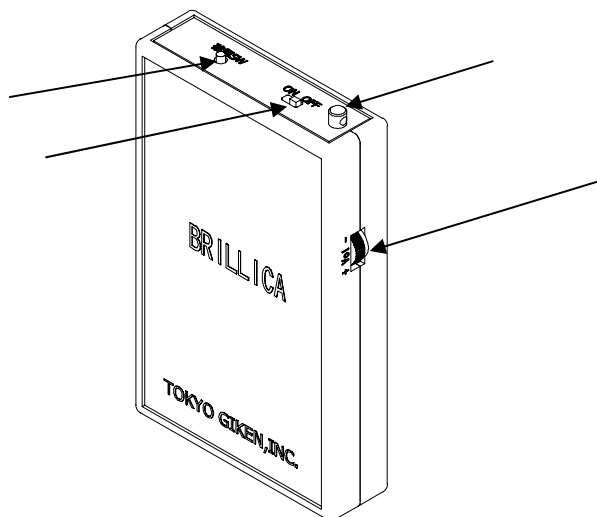


図 6 : お知らせ受信機

部品番号	名 称	備考
1	確認スイッチ	
2	電源スイッチ	
3	ストラップピン	
4	ボリューム	



# リチウムイオンバッテリーの取り扱い

ブリリカ ビアンコは電源にリチウムイオンバッテリーを使用しています。ブリリカ ビアンコをご使用の際は、必ず下記の内容をお読みになってからご使用下さい。

## ( 1 ) ご使用前

ブリリカ ビアンコを初めてご使用される場合は、必ず充電してからご使用下さい。  
リチウムイオンバッテリーは使用していない時でも自己放電します。  
ご使用される際にはバッテリー残量を確認し、必要に応じて充電を行って下さい。

## ( 2 ) 保存について

ご使用後、長期間使用しない場合はコントローラからリチウムイオンバッテリーのコネクタを取り外して保管して下さい。  
長期間ご使用されない場合は1ヶ月に1度リチウムイオンバッテリーの残量をご確認下さい。  
その際、電源が入らない、残量表示が0等の場合は充電を行って下さい。  
バッテリー残量の確認方法はP.16『( 4 ) バッテリー残量表示』をご参照下さい。  
高温多湿や直射日光が当たる場所を避けて保管して下さい。

## ( 3 ) 寿命の目安

リチウムイオンバッテリーの寿命目安としては300～500サイクル(充放電)となります。  
充放電を繰り返すと、バッテリーの劣化が起こり連続使用可能時間も短くなります。  
使用頻度、保存環境によっては前後する場合がございます。  
連続使用可能時間が短くなったと感じたら新品と交換して下さい。



## 注意

分解・改造は絶対にしないこと。

万が一、変形・破損した場合は使用を中止し、購入先または当社までご連絡下さい。

# 操作方法

## (1) アタッチメント装着方法

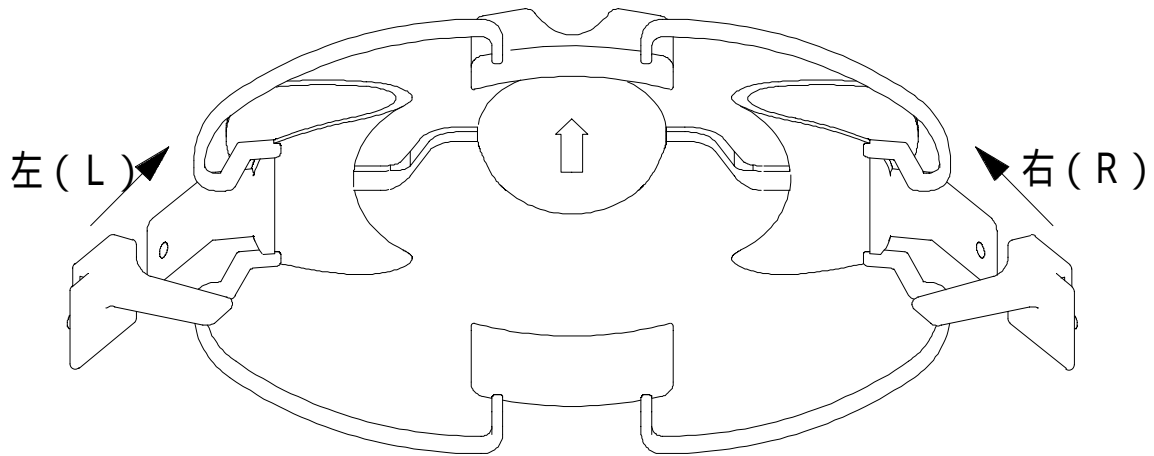


図7：ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS とアタッチメントの装着

図7のとおり、ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS のハンドル部を正面にし、舌固定部に表記されている矢印を上に向かせます。この時の位置を正面とします。ハンドル部に左・右アタッチメントの装着穴部をそれぞれカチッと音がするまで押し込みます。この時クリップ取付部が内側を向くようにしてください。

### ！ 注意

アタッチメントを装着する際は左右および上下を間違えないようにすること。  
装着後はアタッチメントが抜けないことを確認すること。  
アタッチメントは一度装着させた後は取り外す必要はないため、無理に外そうとしないこと。

## (2) コントローラ操作方法

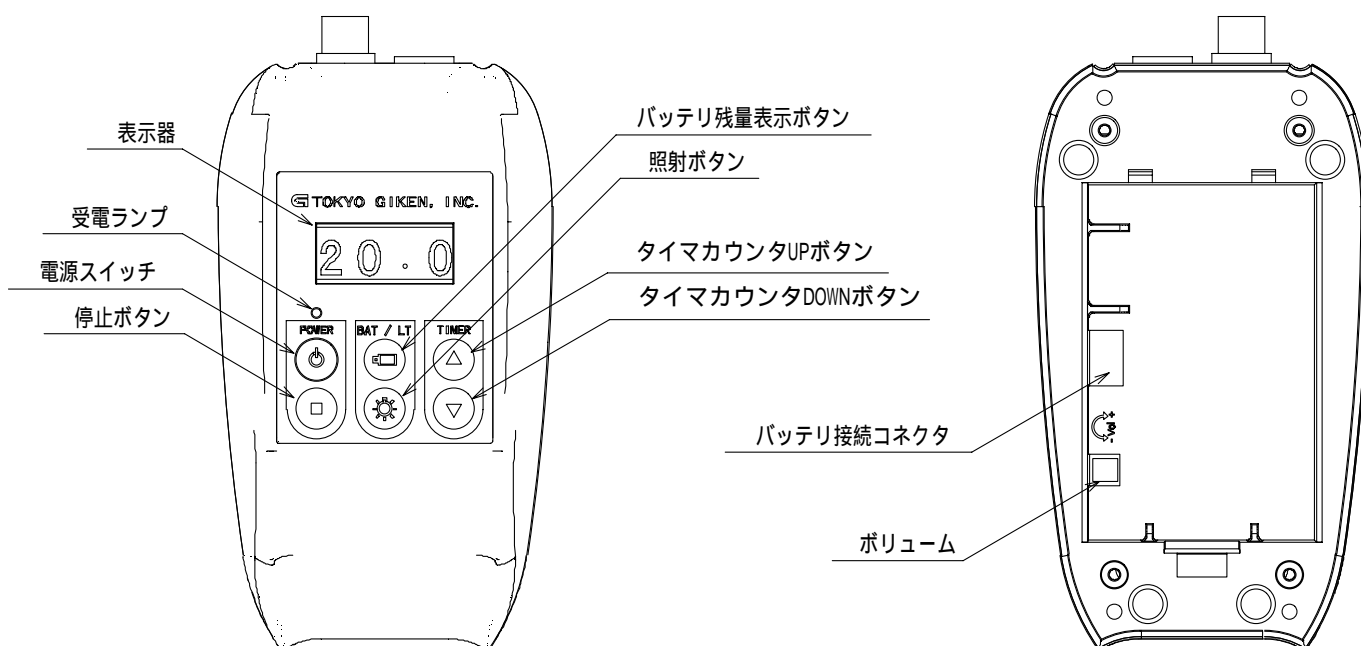


図8：コントローラ操作説明

### 表示器

照射時間、バッテリー残量などの表示をします。(詳細は下表をご覧ください)

バッテリー残量表示の詳細はP16「バッテリー残量表示をご参照下さい。

エラー表示の詳細はP16「ローバッテリーアラーム・エラー機能」をご参照下さい。

照射が完了するとアラームが鳴ります。

照射中はタイマカウンタの小数点が点滅します。

表：表示項目

表示	状態	備考
00.0 ~ 20.0	タイマ表示	0.5 分間隔
bt0 ~ bt4	バッテリー残量表示	bt0、bt1 は表示が点滅
Er1 ~ Er8	バッテリーエラー	Er1: バッテリ温度異常エラー Er2: ローバッテリーエラー Er4: 充電不可エラー Er8: バッテリ保護回路動作

### 受電ランプ

リチウムイオンバッテリーの充電中は橙ランプが点滅します。

充電が完了すると橙ランプは消灯します。

電源スイッチをONにすると緑色に点灯します。

### 電源スイッチ

電源をON/OFFします。

電源をONしてから5秒間は、表示器にバッテリー残量が表示されます。

## 停止ボタン

緊急停止中に押すと、タイマカウンタがリセットされます。

## バッテリー残量表示ボタン

タイマ表示とバッテリー残量表示の切り替えができます。

照射中、緊急停止および充電中はボタンを押しても切り替わりません。

## 照射ボタン

照射を行います。

緊急停止中に押すと、照射を再開します。

電源がOFFの状態では動作しません。

- ・ タイマカウンタUPボタン・タイマカウンタDOWNボタン  
タイマ設定に用います。  
タイマは0.5分～20分の間で0.5分単位の設定ができます。  
電源がOFFの状態では動作しません。

## ～ 緊急停止ボタン

照射中はどのボタンを押しても緊急停止となります。

緊急停止ボタンが押されると中断アラームが鳴ります。

## 注意

**緊急事態に備え、緊急停止の方法を必ず患者に伝えておくこと。  
緊急停止のアラームが鳴った際には速やかに患者のもとに向かい  
適切な処理を行うこと。**

## バッテリー接続コネクタ

付属のリチウムイオンバッテリーを接続して下さい。

長期間使用しない場合はリチウムイオンバッテリーを外して保存して下さい。

## 注意

**当社指定のリチウムイオンバッテリー以外は使用しないこと。  
使用前にコネクタの接続がされているか確認すること。**

## ボリューム

アラームのボリュームを調整します。

マイナスイオンドライバーなど、先端が細いものでボリュームを回して下さい。

### ( 3 ) お知らせ受信機操作方法

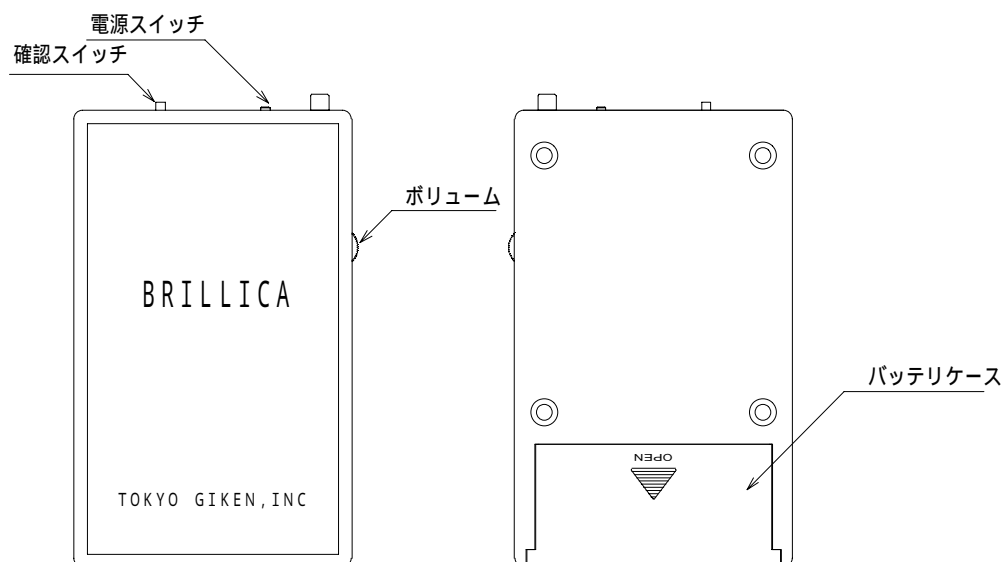


図 9 : お知らせ受信機

#### 電源スイッチ

電源をON / OFFします。

電源をONすると確認スイッチのLEDが点灯します。



#### 注意

使用時以外は電源スイッチを必ずOFFにすること。

#### 確認スイッチ

受信時のアラームおよびバイブレータを停止します。

スイッチ内部にあるLEDが点灯している間は使用可能です。

電源スイッチがONの状態でもLEDが点滅している場合はバッテリー交換を行ってください。

#### ボリューム

受信アラームのボリュームを調整します。

#### バッテリーケース

お知らせ機能受信機を使用する時は単4形アルカリ電池を2本ご使用下さい。



#### 注意

お知らせ受信機用のバッテリーはアルカリ電池以外を使用しないこと。

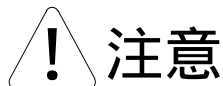
(4) ブリリカ用開口器の装着方法

アタッチメントを装着したブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS を用意します。

(P.10『アタッチメント装着方法』参照。)

舌固定部の矢印表記を上向きにし、ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS の口角部を患者の口角に装着します。

口唇部を患者の口唇に装着します。



患者に装着する際はハンドル部またはアタッチメントを持つようにすること。

患者に装着する際は左右および上下を間違えないようにすること。

ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS は装着前に必ず洗浄、消毒、滅菌を行うこと。(口角鉤 ダブルワイダーの添付文書参照)

(5) 保護めがね

照射を行う際は安全のために患者に保護めがねを着用させます。



使用後はレンズ及びフレームの汚れを落とし、粉塵が付着しないよう専用のケースに入れて直射日光の当たらない冷暗所(0~40 )でケースに入れて保管すること。

# 照射方法

## ( 1 ) 照射準備

リチウムイオンバッテリーをバッテリー接続コネクタに接続します。

お知らせ受信機の電源スイッチをONにして確認スイッチのLEDが点灯することを確認します。

コントローラの電源スイッチをONにし、受電ランプが緑色に点灯していることを確認します。

電源ON時に表示されるバッテリー残量が「0」または「1」の場合はACアダプタを接続して充電を行いながらの使用を推奨します。

患者に保護めがねを着用させます。

患者にブリリカ用開口器を装着します。(P.14『ブリリカ用開口器の装着方法』参照。)

患者の歯牙に漂白剤を塗布します。

## ( 2 ) 照射

患者に装着したブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器SSに本体を取り付けます。

(P.18『アタッチメント・ブリリカ ビアンコ本体取り付け』参照)

ストラップのクリップを患者の衣服に固定します。

タイマカウンタを設定します。(標準タイマ設定は5分です。)

照射ボタンを押します。

タイマ設定時間が経過すると、完了アラームが鳴り照射が終了します。

お知らせ受信機をご使用の場合は、受信機側もアラームおよびバイブレータが鳴ります。

照射が終了したら本体をブリリカ用開口器から取り外し、ブリリカ用開口器を患者から取り外します。

冷却ファンが止まったら電源スイッチをOFFにして下さい。



## 注意

**照射終了後も1分間は冷却ファンが回り続けるため、冷却ファンが止まってから電源スイッチをOFFにすること。**

**本体落下防止のために、必ずストラップのクリップを患者の衣服に固定すること。  
1ヶ月以上使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてから、リチウムイオンバッテリーのコネクタを外して保管すること。**

## ( 3 ) 緊急停止

照射中はコントローラのどのボタンを押しても緊急停止となります。

緊急停止中は中断アラームが鳴ります。

緊急停止後に照射ボタンを押すと照射を再開します。終了させる際には停止ボタンを押してください。

## ！ 注意

停止後も1分間は冷却ファンが回り続けるため、冷却ファンが止まってから電源スイッチをOFFにすること。

### (4) バッテリ残量表示

リチウムイオンバッテリーの残量をコントローラで確認することができます。  
バッテリー残量はbt0～bt4の5段階で表示されます。  
コントローラの電源をONした際に、表示器に5秒間残量が表示されます。  
コントローラの電源がONの状態ではバッテリー残量表示ボタンを押すと表示が切り替わります。

### (4) ローバッテリーアラーム・エラー機能

#### ローバッテリーアラーム機能

照射中にリチウムイオンバッテリーの残量が減ってくると、アラームとともに表示器の表示がbt0で点滅します。  
アラームが鳴り始めた場合は、コントローラにACアダプタを接続してご使用下さい。  
アラーム音は、ACアダプタを接続するか操作スイッチのいずれかを1回押せば止めることができます。  
お知らせ受信機をご使用の場合は、お知らせ受信機もアラーム通知されます。  
確認スイッチを押すことでコントローラのアラーム音も停止します。

#### エラー機能

バッテリーに異常が起きた場合にエラーアラームとともに表示器にEr1～Er8のいずれかが表示されます。(各エラーの詳細は次ページの表をご参照下さい)  
エラーが起きた場合、照射は強制終了されます。  
エラー音は操作スイッチのいずれかを押せば止めることができます。  
お知らせ受信機をご使用の場合は、お知らせ受信機もエラー通知され、確認スイッチを押すことでコントローラのアラーム音も停止します。

表：バッテリーエラー詳細

表示	エラー内容	エラー解除方法	エラー後の対応
Er1	バッテリー温度異常	バッテリー温度が一定温度に下がる	購入先または当社までご連絡下さい
Er2	ローバッテリーエラー	ACアダプタを接続	充電後、そのままご使用下さい
Er4	充電不可エラー	ACアダプタを外してからバッテリーのコネクタを外す	購入先または当社までご連絡下さい
Er8	バッテリー保護回路動作	ACアダプタを接続	充電後そのままご使用下さい

Er3、5、6、7は上記のエラーが同時に起きた場合に表示されます。



## 注意

バッテリー温度異常・充電不可エラーが起きた場合はバッテリーの使用をやめ、購入先または当社までご連絡下さい。  
バッテリー保護回路動作のエラーが出た場合は、バッテリーがダメージを受け、照射可能時間が短くなっている恐れがあります。

### ( 5 ) お知らせ機能

本体の照射終了・緊急停止・ローバッテリーアラームで、お知らせ受信機のアラームおよびバイブレータが動作します。

確認スイッチを押すとアラームとバイブレータが止まります。同時にコントローラのアラーム音も止まります。

電源ONの状態でもコントローラをONすると、アラームとバイブレータが1回動作します。

## 注意

使用後は必ず電源スイッチをOFFにして保管すること。

電源ON時にLEDが点灯していない場合は、一度電源を入れ直すこと。

それでもLEDが点灯しない場合はバッテリー交換を行うこと。

電源ON状態で確認スイッチのLEDが点滅している時はバッテリーの残容量が少なくなっているため、バッテリー交換を行うこと。

### ( 6 ) 充電

コントローラバッテリーケースにリチウムイオンバッテリーが接続されていることを確認して下さい。

ACアダプタをコントローラのACアダプタ接続部に接続します。

ACアダプタを単相交流100Vに接続すると充電を開始します。

充電中は受電ランプの橙が点滅します。

受電ランプの橙が消灯したら充電完了です。

## 注意

異常だと感じたらコントローラからACアダプタを外し、充電を中止して下さい。

### ( 7 ) 使い終わったら

P.20『清掃の方法』に基づいて清掃を行います。

使い終わった製品はP.4『輸送及び保管に関する環境条件について』に基づいて保管を行ってください。

## 着脱可能な部品

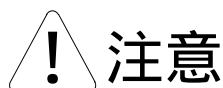
アタッチメント・本体  
本体・コントローラ  
コントローラ・リチウムイオンバッテリー  
コントローラ・ACアダプタ  
本体・ストラップ

## 着脱可能な部品の着脱方法

アタッチメント・本体

### 【取り付け】

患者にブリリカ用開口器を装着します。(P.14『ブリリカ用開口器の装着方法』参照。)  
本体のクリップを両手で持ち、クリップを開いてアタッチメントに取り付けます。  
ストラップのクリップを患者の衣服に固定します。



本体のクリップはアタッチメントの先端がクリップの壁に突きあたるまで深く  
取り付けること。

### 【取り外し】

ストラップのクリップを患者の衣服から取り外します。  
本体のクリップを両手で持ち、クリップを開いてアタッチメントから取り外します。



取り付け・取り外しの際は電源スイッチをOFFにすること。

本体・コントローラ

### 【取り付け】

本体ケーブル先端のコネクタをコントローラのケーブル接続部に差し  
込み、コネクタのナット部を時計回りにカチッと音が鳴るまで回して下さい。

### 【取り外し】

コントローラを片手で持ちながらもう片方の手でケーブル先端のコネクタナット部を  
反時計回りに回すと、コントローラから本体が取り外せます。

## 注意

取り付け・取り外しの際は電源スイッチをOFFにすること。

コントローラ・リチウムイオンバッテリー

### 【取り付け】

ACアダプタが接続されていないことを確認して下さい。

コントローラのバッテリーケースフタを空け、バッテリー接続コネクタにリチウムイオンバッテリーのコネクタを接続して下さい。

接続後は必ずバッテリーケースのフタを閉じて下さい。

### 【取り外し】

電源OFF状態かつACアダプタが接続されていないことを確認して下さい。

コントローラのバッテリーケースフタを空け、リチウムイオンバッテリーのコネクタのツメを軽く押しながら抜いて下さい。

## 注意

濡れた手でリチウムイオンバッテリーのコネクタに触れないこと。  
コネクタを抜く場合はケーブルを引っ張らないこと。

コントローラ・ACアダプタ

### 【取り付け】

ACアダプタをコントローラのACアダプタ接続部に挿入します。

## 注意

ACアダプタは奥までしっかり差し込むこと。

### 【取り外し】

コントローラを片手で持ち、もう片方の手でACアダプタケーブルの先端を持ち、コントローラからACアダプタケーブルを引き抜いてください。

## 注意

ACアダプタの取り外す際は、電源スイッチをOFFにすること。

## 本体・ストラップ

### 【取り付け】

本体のストラップ用穴にストラップの紐を通し、固定します。

### 【取り外し】

ストラップの紐を本体のストラップ用穴から抜き取ります。

# 仕様

## 本体・コントローラ

電源入力	DC7.2V (リチウムイオンバッテリー)
連続使用可能時間 (満充電時)	約 80 分
充電時間	約 150 分
お知らせ受信機との通信電波周波数	2.4GHz 帯
電撃に対する保護の形式	内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	B 形装着部
作動モード	短時間運転(20 分定格)
水の浸入に対する保護の程度	IPX0
空気・可燃性ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻醉ガスのある中での使用の安全性の程度	可燃性ガス、又は亜酸化窒素・可燃性麻醉中での使用に適さない機器

## A C アダプタ

電源	単相交流 100V
電源入力	0.3A
周波数	50/60Hz

## お知らせ受信機

電源	単 4 形アルカリ電池 2 本
電波周波数	2.4GHz 帯

# 清掃の方法

## 本体・コントローラ・お知らせ受信機

本体、コントローラおよびお知らせ受信機の汚れを取る時は、柔らかい布に水か中性洗剤を少量含ませて軽く拭いて下さい。



## 注意

必ずリチウムイオンバッテリーを抜いてから行うようにすること。  
有機溶剤は絶対に使用しないこと。  
上記以外の方法による洗浄は行わないようにすること。

ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS  
口角鉤 ダブルワイダーの添付文書参照

保護めがね

使用後は中性洗剤を薄めた液に浸し、指先で汚れを落とします。  
水洗いをし、柔らかい布で押し取るように水分を取り、自然乾燥させます。



**注意**

**有機溶剤は絶対に使用しないこと。**

## 定期点検・日常点検

本体・コントローラ・お知らせ受信機の清掃。汚れた時適時。  
ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS の洗浄、消毒又は滅菌。使用毎。  
(口角鉤 ダブルワイダーの添付文書参照)  
保護めがねの交換。レンズのキズ、フレームのヒビ・変形。  
コントローラの動作確認・リチウムイオンバッテリーの残量確認。1ヶ月毎。

## アフターサービス

保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管して下さい。  
保証期間は1年間です。  
保証期間中の修理(保証書の記載内容により無料修理)  
保証期間経過後の修理は、購入先または当社までご相談下さい。



## 保 証 書

本証書は、本証書に記載された製造番号の商品が、当社に於いて入念に製作し  
 厳密な検査を完了して出荷されたものであることを証明し、かつご購入後保証期  
 間内に万が一発生した自然故障に対し、当社が無償修理の責任を負うことを保証  
 するものです。

品名	ブリリカ ピアノ
製造番号	
ご住所	〒  TEL ( )
ご芳名	様
保証期間	年 月 日より1年間
販売店名	

### 保証内容

- (1) 「**正常な使用状態**」において「**製造上の責任**」による故障について保証  
適用します。
- (2) 次の場合は保証期間中でも「**有償修理**」となります。  
 (イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障  
 (ロ) 火災、地震等天災又は異常電圧等による故障  
 (ハ) 保証書の所定事項の未記入、押印もれ、又は文字を勝手に訂正され  
 た場合等
- (3) 保証期間経過後又は保証適用外の故障につきましても、**誠意をもって  
修理いたします** (実費修理となります)

楽音用セントラル・サクシヨン・システムの専門メーカー

 **株式会社 東京技研**

URL: <http://www.tokyogiken.com> E-mail: [TG@tokyogiken.com](mailto:TG@tokyogiken.com)

**本 社** 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13  
 TEL: 03-3703-5581(代) FAX: 03-3705-1760

**仙 台営業所** 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-28-2  
 TEL: 022-371-9651 FAX: 022-371-9653

**名古屋営業所** 〒465-0005 愛知県名古屋市名東区香流1-822  
 TEL: 052-776-3355 FAX: 052-776-3356

**大 阪営業所** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-6-19  
 TEL: 06-6368-8877 FAX: 06-6368-8876

**福 岡営業所** 〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7  
 TEL: 092-411-0377 FAX: 092-411-0376

**横 浜 工 場** 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37  
 ISO9001 ISO13485 認証工場



※仕様は予告なく変更する場合がございます。